

日本核医学会（1964年発足）

ダイバーシティ・インクルージョンに関する取り組み

2011年に女性会員の交流目的の任意参加の会（名称：なでしこの会）が発足し、2022年度まで12年間活動を継続していた。運営企画は全員女性の主要委員が担っていたが、参加資格は会員であれば男女を問わなかった。また当学会の特殊性として、医師・看護師・診療放射線技師・薬学（薬剤師）・放射線物理学・関連メーカー社員らの幅広い分野から参加していた。2023年度以後は、なでしこの会も含むと明記して、ダイバーシティ・インクルージョン委員会が発足した。

なでしこの会として過去の日本核医学会総会で企画した主なプログラムと、会員の実態調査報告（別紙1と別紙2）を提出する。

【総会での主な企画】

2015年 心から笑顔になれるメイクUP－人生のエッセンス

2016年 A bright feature for the nuclear medicine medical staff - mentoring-Cooperation project with WINM (Women in Nuclear Medicine 注：北米核医学会の女性会員の会)
京都大学中央放射線部におけるキャリアプランについて

2018年 ストレスとレジリエンス

2019年 病院皮膚科医、何してますか？

2021年 タスクシフト/シェアと核医学診療

2022年 Diversity 推進-学会の目指すところ

2023年 みんなで考える 女性核医学従事者の将来